

北九州市の「暮らしを彩る」まちづくりを支援 「2022北九州国際音楽祭」へ1,300万円を寄付

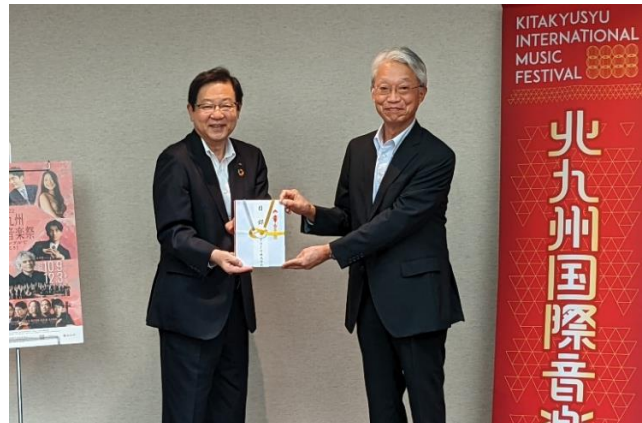
TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、35回目を迎えた「北九州国際音楽祭」に対して、1,300万円の寄付^{※1}を決定しました。

TOTOは地域社会の芸術文化の振興を願い、1988年の第1回開催時より連続して35回、北九州国際音楽祭へ特別協力を行っています。

同音楽祭は、バラエティに富んだプログラムで質の高いコンサートを提供していることから、都市型音楽祭としての評価が高く、北九州市外からの入場者数も増加しており、適切な感染症対策を講じ本年も開催されます。

TOTOは、2030年に「持続可能な社会」と「きれいで快適・健康な暮らし」の実現を目指す、新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030で掲げるマテリアリティの1つ「人とのつながり」として、次世代のために文化支援、社会貢献を今後も行っていきます。

※1: 新型コロナウイルスの影響により、プログラム内容の変更や中止に伴う寄付金額変更の可能性があります。



北九州市役所での贈呈式の様子
(左:北橋健治 北九州市長)

「2022北九州国際音楽祭」開催概要

期 間:2022年10月9日(日)~12月3日(土)

主 催:(公財)北九州市芸術文化振興財団

共 催:北九州市、北九州市教育委員会

特別協力:TOTO株式会社

会 場:北九州市立響ホール 他

オフィシャルホームページ: <http://www.kimfes.com/>

「北九州国際音楽祭」について

北九州国際音楽祭は、1988年に北九州市制25周年を記念して創設され、北九州市の目指す「暮らしを彩る」まちづくりの取り組みの柱の1つとして開催されています。

同音楽祭は、フィンランド屈指の夏のフェスティバルであるクフモ室内音楽祭と提携した時期(1988年~1997年)と、都市型の総合音楽祭として歩みつつ教育プログラムを充実させる時期(1998年~)という2つの異なった歴史を持ちます。

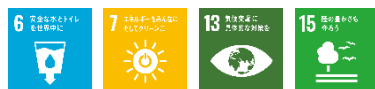
今年は、「アンサンブルで行こう!」をキャッチフレーズに、ロンドン交響楽団をはじめ、国内外のトップアーティストが集い、多彩なラインナップで開催されます。

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として経営とCSRの一体化に取り組み、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/ir/individual/vision/index.htm>